

2017（平成 29）年度 福岡女子大学 帰国生特別入試

〔 試験問題 〕

国際教養学科

# 総合問題

【 90 分 】

## 注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 問題は 3 ページから 9 ページにあります。
- 3 試験中に問題用紙の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 4 試験開始と同時に解答用紙の**受験番号欄に受験番号**を記入してください。
- 5 試験終了後、**問題冊子は持ち帰ってください。**

**問題** 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

労働力の活用のためには、不況を a 脱却して余っている生産手段（オフィスや工場）と人材を最大限活用できる状況を、金融 b カンワ等を通じて実現することが重要である。しかし、それだけでは解決しない問題も多い。ポスト工業化社会では、労働需要がサービス業に c 偏る傾向が強くなる。しかも社会が高齢化すると、サービス職の大半はケアワークになる。国民に十分なケアサービスをいかに効率的かつ（1）に供給するのかは、先進国に共通した課題だ。そして、従来の経済政策が首尾よく適用できない課題でもある。

これまで先進諸国の経済成長を支えてきたのは、第二次産業、主に製造業における技術発展であった。もちろん資本（事業につき込まれるおカネ）や労働力（日本は d 団塊の世代がこれを担った）といった要素も大きいが、少なくとも製造業部門には、機械化や M E（マイクロエレクトロニクス）化によって生産性が大幅に拡大する余地があった。

脱工業化段階においても、情報機器・通信産業は技術発展の余地が大きい。また、金融部門は一九七〇年代以降の資本の国際移動の活発化にともなって、総じて高い収益率を維持している。したがって問題はサービス業全般というよりも、対人サービス業なのである。一部の対人サービス業は、効率化によって生産

性を上げることがなかなか難しい。その典型がケアワークだ。

そもそもモノとサービスの違いは、保存して持ち運べるかどうかにある。スマートフォンは、ある場所で集中的に製造して、品質を落とさずにそれを世界中に運ぶことができる。集中して生産することで効率化を成し遂げ、また労働コストが低い国で生産して価格を下げることもできる。しかし育児や介護労働などのケアサービスではそうはいかない。こういった対人サービスは、それが生産される時間・場所と、消費される時間・場所が同じでなくてはならない。

もちろん広義にとれば、ケアサービスのすべてがそういった特性を持つわけではない。家事（育児でも介護でもある程度そうだが）の大きな部分を占めるのが食事の準備と後片付けである。この労力を「ゲキ」に減らしてくれるのが外食や加工食品だ。調理サービスは（多くの外食サービスがそうであるように）少なくとも最後の仕上げについては生産と消費の同時性が重要になるとはいえ、冷蔵・冷凍技術の発達で今や莫大な量が流通するようになった加工食品は、おおむね通常のモノのように生産・消費されている。

しかしそれでもこのような「効率化」は、テレビやスマートフォンの場合と違って商品の質を大きく損なうものだと考えられている。テレビの場合、その場で組み立てないとその価値が損なわれる、ということとはもちろんない。家電量販店でテレビを購入するとき、「型」の古さを気にする人はいても、同じ型で製造年月日が新しいものを欲しがる人はあまりいないだろう。

このように、家事・育児・介護といったケアサービスには生産と消費の同時性というf<sub>シ</sub>バリがある。

家事労働の多くは、生産（サービスの提供）と消費が同時であることに大きな付加価値が生まれる。食品についても、工場で生産されたもののほうが質がよいとなれば、家庭の夕食はとつくの昔にコンビニ弁当に支配されているだろう。対人サービス業は、生産と消費の時間と場所が近いことによってその価値が上がるのだ。ここに、ケアワークの多くがいまだに多くの先進国でも家族内部で提供されている理由がある。

むろん、水道・電気・ガスの普及や電子レンジ・洗剤の発展など、家事的サービスのコストを急激に低下させてきたインフラ・技術の発展もあるが、人々の生活水準、つまり食べるものの質や住む場所の清潔さに求める要求水準が高まったこともあり、家事の負担は現在でもそれなりに重い。「冷たい食事」「レンジでチンする夕食」といった言葉にg<sub>含</sub>意されるように、食事の準備には人的な交流の意味が込められることもあり、その場合には「コストを減らす」こと自体がサービスの価値を落としてしまう。

同じような例は教育サービスにもあてはまる。教育は、書籍や視聴覚教材のように「モノ」として流通している部分もあるが、一般的には対面的な授業のほうが価値が高いとされる。そして（実証的には常に支持されているわけではないが）「（2）教育」のほうが効果が高いという見方が強い。すべての教育にあてはまるわけではないが、教えられる個々人の多様性に即していればいるほど、教育の効率は高まると考

えられるからである。大学の授業にしても、四〇〇人を相手にした授業と五〇人を相手にした授業ではそれほど教育効果の違いはないかもしれないが、これが二〜三人を対象にした（２）指導となれば、おそらく大きな効果が期待できる。

さらに、育児においては「人格の交流」に価値が置かれるため、「同じ品質」のサービスでも、それを「誰が」提供するかで価値が大きく左右される。同じ「授乳」でも、母親が行うのか他の誰かが行うのかに全く違いはない、と割り切れる人は少ないはずだ。介護においてもある程度は同じことがいえるかもしれないが、育児ほどではないだろう。したがって、ケアワークの外部化（家族以外の誰かが担うこと）は育児よりも介護において先行している。

医療サービスをケアサービスに含めるかどうかは定義によるが、医療部門は家事・育児・介護といった通常の意味でのケアサービスとは異なった独自の動きをする。しかもそれは、製造業とも異なった論理で動いている。どういうことかといえば医療分野では技術革新が hヒンパン に生じる点では製造業に近く、通常のケアサービス部門とは異なる。一方、技術革新が必ずしもコストの低下をもたらさない点で製造業とも異なる。むしろ近年の先進各国における医療コストの増大は、高齢化の影響というよりも医療技術の進歩の結果なのである。従来は難しかった病気の治療、延命技術などに使われる医療機器や医薬品、それらの開発費は莫大な金額になるので、社会保険制度なしでは通常の収入の人にはとうてい利用不可能なサ

ービスとなってしまう。なぜこうなっているのかといえ、要するに人命をお金で買うことはできないと多くの人々が考えるために、ある程度採算をいドガイシした仕組みができているからであろう。

医療部門は特殊としても、対人ケアサービスの価格が技術革新によって下がる余地が小さいのは、まさに「人」がその時間、その場でサービスを提供する必要があることからきている。最近介護においてロボットやパワーアシスト装置を活用する研究が進んでいるが、ここでは（医療部門と同じく）（3）がむしろコストを高める。技術革新がサービスを効率化して価格を下げる効果については、少なくとも当面は期待できないだろう。

以上のように、ケアサービスを効率的に生み出す仕組みをつくることは、その本質が対人サービスであるかぎり簡単ではない。このことを認識しておくことは重要だ。なぜなら、ケアサービス業が成長産業だと考えられてしまうことがままあるからだ。なぜこういった「誤解」が生じるのかといえ、高齢化によつ

てケアサービス業界がj旺盛な労働需要を生み出すからであろう。しかし労働需要があるからといって、その業界が高い生産性を実現し、人々の生活をより豊かにするとは限らない。世界的に見ても、ケアワーカーの所得は決して高いものではない。アメリカやカナダでは比較的安価な移民労働力がケアサービスの需要を満たしているし、スウェーデンでは公的にケアワーカーを雇用することでなんとかそれなりの所得水準を実現しているにすぎない。

製造業においては、市場メカニズムがうまく機能するようにお膳立てできれば、自然と生産性が高まることが期待できた。しかしケアサービスは決してそのようなタイプの産業ではない。自由主義の国がある程度ケアサービス需要を満たすことができているのは、移民労働力があってこそである。社会民主主義の国でも、ケアワークにかかるコストの縮減は常に政府の優先的課題であった。どこかに「うまくいっている」国があるから、そこから制度を持つてくれればよい、という話ではないのだ。

（筒井淳也 『仕事と家族』中央公論新社より）

問一 傍線部 a ～ j について、カタカナは漢字に、漢字はカタカナに、直しなさい。

問二 (1) の空欄に入る最もふさわしい語句を選択肢 (い) ～ (ほ) から選んで記号で答えなさい。

(い) 非効率的 (ろ) 独占的 (は) 高価 (に) 公平 (ほ) 限定的

問三 破線部について、このような状況に当てはまると思われる具体例を考え、一つ挙げなさい。

問四 (2) の空欄に適切な語句を入れなさい。

**問五** 二重線部の「育児ほどではないだろう」とはどういうことか。本文に即してわかりやすく説明しなさい。

**問六** (3)の空欄を文中の熟語を使って埋めなさい。

**問七**  について、「誤解」が生じる理由を、本文に即して説明しなさい。

**問八** ケアサービスと製造業の違いを、本文に即して答えなさい。

**問九** 日本における家事・育児・介護等の現状と課題について、あなたの考えを四百字以内で述べなさい。

